

第42回

素形材 産業技術賞

募集のご案内

応募締切

令和8年

5月15日(金)

表彰式：令和8年11月6日(金)

募集対象とする素形材産業技術とは

- 鋳造、ダイカスト、鍛造、金属プレス加工、粉末冶金、型、金属熱処理に関する技術
- 鋳造機械、鍛圧機械、工業炉に関する技術
- 素形材及びその製造に密接な関連がある加工技術（Additive Manufacturing、複合加工、レーザー応用等）、材料技術
- 素形材に関連したソフトウェア技術（IoT や AI 等の活用も含む）等

11月は、「素形材月間」です。

※令和6年度より「素形材産業経営賞」の新設をしています。

“素形材表彰”で検索

素形材表彰

ご応募・
問い合わせ先

一般財団法人素形材センター業務部

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8（機械振興会館）

電話：03-3434-3907 FAX：03-3434-3698 E-mail：gyoumu@sokeizai.or.jp

■ 本賞の趣旨

素形材産業技術賞は、(一財)素形材センターが1985年度に創設した歴史ある表彰制度で、優秀な素形材産業技術の開発により、わが国素形材産業の技術水準の進歩向上に著しく貢献した技術の開発者を表彰し、もってわが国素形材産業の振興に資することを目的としています。特に優れた開発技術には、これまで素形材関連の学・業界として唯一、経済産業大臣賞が授与されてきました。

本表彰事業は、11月の素形材月間事業(本年度で32回目)の中心に位置付けられており、経済産業省関係者等も列席して、表彰式を挙げる予定です。

素形材企業及び素形材業界を応援する表彰制度です。ご応募をお待ちしています。

■ 表彰の対象

※一昨年度より、従来技術の改良・改善も対象です。(下線部の通り)

- ◆素形材産業技術表彰委員会で審査の結果、概ね過去5年以内に開発され、「実用化の実績(実用化の具体的な見通しのあるものを含む)がある新技術・新製品」或いは、「従来技術であっても改良・改善を加えることで特筆する効果を発揮した技術・製品」として認められた優秀な素形材産業技術の開発者に、素形材センターより素形材センター会長賞及び奨励賞を授与するものです。
- ◆特に優秀なテーマについては、経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞、経済産業省製造産業局長賞の交付を申請する予定です。

【表彰の種類(予定)】

- ◇経済産業大臣賞^{※1}
- ◇中小企業庁長官賞^{※1}
- ◇素形材センター会長賞
- ◇産業デザイン財団賞^{※2}
- ◇経済産業省製造産業局長賞^{※1}
- ◇素形材産業技術表彰委員会特別賞
- ◇奨励賞

※1：特に優秀と認められた場合に、経済産業省へ大臣賞等の授与を申請します。但し、所定の水準に達しない場合は“該当なし”とします。

※2：大臣賞、長官賞、局長賞、及び会長賞受賞者の中から、指導者として中核的な役割を果たされた中小素形材企業の経営者を対象とします。

表彰状および副賞の楯



■ 表彰の対象・内容

次の i ~ viii のいずれかについて、顕著な功績を収めた技術開発者を表彰します。

- i 素形材の品質、性能の向上
- ii 素形材生産の効率化
- iii 作業環境の改善又は安全性の向上
- iv 環境の保全（公害防止、廃棄物処理・再生利用、地球環境保全）
- v 資源及びエネルギー使用の効率化
- vi 異分野企業等との連携事業による新たなビジネスモデル構築など
- vii IoT等に配慮した新たな生産体制構築など
- viii その他素形材産業の発展に寄与(SDGs/GXやDXも含む)



■ 募集締切

5月15日(金)

■ 応募の方法

応募書類の入手

応募書類の様式(MS-Word形式)は、素形材センターのホームページ、下記 URL からダウンロードして入手いただけます。

<https://www.sokeizai.or.jp/pages/134/>

※応募書類様式”を郵送希望の場合は、お電話や FAX 等で事務局へご依頼ください。

応募書類の作成

応募書類の記入様式に基づき作成して下さい。また、補足資料(公表資料、図表・写真等)を添付できます。なお、応募内容については他の特許等を侵害していないこと、或いは係争中でないことが条件です。

応募書類の提出

応募書類は、eメール(電子データ)、または郵送(プリント1部、及び同書類をCD等に格納した電子データ)のいずれかでお送りください。応募書類は、本表彰の審査以外には使用いたしません。なお、応募書類は選考結果に関わらず返却いたしません。

■ 審査の流れ

審査は、素形材センター会長が委嘱する学識経験者で構成する素形材産業技術表彰委員会において、本賞の審査基準に基づき以下の流れで審査します。

第一次
書類審査

第二次
書類審査

ヒアリング
審査

現地審査

最終審査

*状況により、一部、審査方法が変わる場合があります。

【審査基準】

- ✓ 技術レベル(革新性、品質向上貢献度、生産性、開発難易度等)
- ✓ 実用化実績(或いは実用化の具体的な見通し)
- ✓ 環境配慮性(省エネルギー、CO₂排出削減、省資源、GX等)
- ✓ 経済性や経営への貢献度
- ✓ 将来への発展性・産業への寄与



■ 受賞者の公表、表彰式

- ◆11月の素形材月間記念式典で公表・表彰式を行います。
- ◆開催日：令和8年11月6日(金)
- ◆会場：機械振興会館大ホール(東京都港区芝公園3-5-8)
- ◆当センターのホームページやメールマガジン等で公表・PRいたします。

■ 受賞技術、製品等の普及支援

受賞技術を月刊誌「素形材」等で紹介し、技術・製品等の普及をお手伝いします。

素形材に携わる経営者や技術者、そしてユーザーの皆様にご愛読いただいております本誌12月号に受賞内容を紹介します。

原稿執筆をお願いいたしますので、予めご了承ください。

これまで経済産業省本館ロビーに於いて“受賞技術の展示”を行いました。本年度も展示を予定しています。



素形材センター会長賞以上を受賞された技術開発代表者には、月刊誌「素形材」を1年間無料で購読いただけます。

令和7年度 第41回素形材産業技術賞 受賞一覧



中小企業長官賞

過飽和炭素固溶化処理工具鋼型によるチタン眼鏡フレームの凝着フリー・ドライ冷間加工の開発
増永眼鏡株式会社 / 表面機能デザイン研究所合同会社 / 国立大学法人富山大学



経済産業省製造 産業局長賞

大型ダイカストに対応したコンパクトな省燃費アルミニウム溶解保持炉の開発
いすゞ自動車株式会社 / 株式会社宮本工業所 / 互交産業株式会社
高剛性・高精度な加工を実現する高速自動プレスの開発
株式会社アイシス



一般財団法人素形材センター会長賞

超薄型家電用モータの実現に貢献する粉末プレスによる
両ツバ付き鉄心の一体成形技術の開発
住友電工焼結合金株式会社
油圧制御と金属の弾性変形を活用した金型加工時の
水平出し高効率化治具の開発
七宝金型工業株式会社
パルス幅変調制御を用いた噴水焼入れ技術の開発
日本製鋼所M & E株式会社 / 株式会社日本製鋼所

アルミニウムダイカストによるPHV用EA機能付
バッテリーケース一体成形技術の開発
リョービ株式会社 / リョービミラサカ株式会社
高剛性・高充填力を有するギガキャスト用
超大型ダイカストマシンの開発
UBEマシナリー株式会社
鉄-アルミ塑性流動接合技術の開発とパワートレイン部品
への実用化
ヤマハ発動機株式会社 / 株式会社協和アルテック



奨励賞 7件



産業デザイン財団賞 3名

増永眼鏡株式会社	代表取締役社長	増永宗大郎氏
株式会社アイシス	代表取締役会長	内藤 良彦氏
七宝金型工業株式会社	代表取締役社長	松岡 寛高氏

※ なお受賞内容等の詳細は、素形材センターホームページで紹介しております。

受賞者プレゼンテーションの様子



受賞者の声

※ HPには受賞者の声をアップしておりますのでご覧ください。

- ◆新せん断加工法の開発で素形材産業賞を受賞させていただきました。それを契機として塑性加工学会賞の受賞や関連業界からの寄稿依頼もありました。本技術を広くご紹介いただいた成果だと感謝しております。
(第37回：経済産業省製造産業局長賞 ご受賞者)
- ◆新規のお客様に当社の会社概要をプレゼンする際に、素形材産業技術賞を受賞した技術を紹介することで、その他の技術においても当社が高い技術力をもった企業として認識し信頼され、大手企業様への拡販につながりました。
(第36回：素形材センター会長賞 ご受賞者)
- ◆受賞を契機として、これまで全くお付き合いのなかった企業様よりご連絡をいただいたり、関連する業界団体より工場見学の依頼があったりと、受賞技術の知名度が大きく向上したことを実感致しました。
(第34回：ご受賞者)



一般財団法人素形材センター

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館301号室

電話：03(3434)3907 FAX：03(3434)3698

ホームページ URL：<http://sokeizai.or.jp>

第3回 素形材産業 経営賞

募集のご案内

応募締切

令和8年 **6月5日(金)**

表彰式：令和8年11月6日(金)

募集対象とする素形材企業とは

- ▶ 鋳造、鍛造、金属プレス加工、粉末冶金等によって素材に計上を付与した素形材を製造する企業
- ▶ 上記と密接な関連を持つ鋳造機械、鍛圧機械、金型、木型、工業炉、熱処理の事業を営む企業

11月は、「**素形材月間**」です。

※令和6年度より「素形材産業経営賞」の新設をしています。

“素形材表彰”で検索

素形材表彰



「第42回素形材産業技術賞」も同時募集中!

ご応募・
問い合わせ先

一般財団法人素形材センター業務部

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 (機械振興会館)

電話：03-3434-3907 FAX：03-3434-3698 E-mail：gyoumu@sokeizai.or.jp

■ 本賞の趣旨

素形材産業経営賞は、(一財)素形材センターが令和6年度に創設した表彰制度で、優れた素形材企業経営によりわが国素形材産業における先進的な取組を実施した企業の経営者や担当者を表彰し、もってわが国素形材産業の振興に資することを目的としています。

本表彰事業は、11月の素形材月間事業(本年で32回目)の中心に位置付けられており、経済産業省関係者等も列席して、表彰式を挙げる予定です。

素形材企業及び素形材業界を応援する表彰制度です。ご応募をお待ちしています。

■ 表彰の対象

- ◆素形材産業経営表彰委員会で審査の結果、素形材産業における素形材企業経営、先進的な取組を総合的に行い、顕著な功績を収めた経営者や担当者に素形材センターより素形材センター会長賞を授与するものです。
- ◆特に優秀な活動については、経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞、経済産業省製造産業局長賞の交付を申請する予定です。

【表彰の種類(予定)】

- ◇経済産業大臣賞^{※1}
- ◇中小企業庁長官賞^{※1}
- ◇経済産業省製造産業局長賞^{※1}
- ◇素形材センター会長賞

※1：特に優秀と認められた場合に、経済産業省へ大臣賞等の授与を申請します。
但し、所定の水準に達しない場合は“該当なし”とします。

表彰状および副賞の楯



■ 表彰の対象・内容

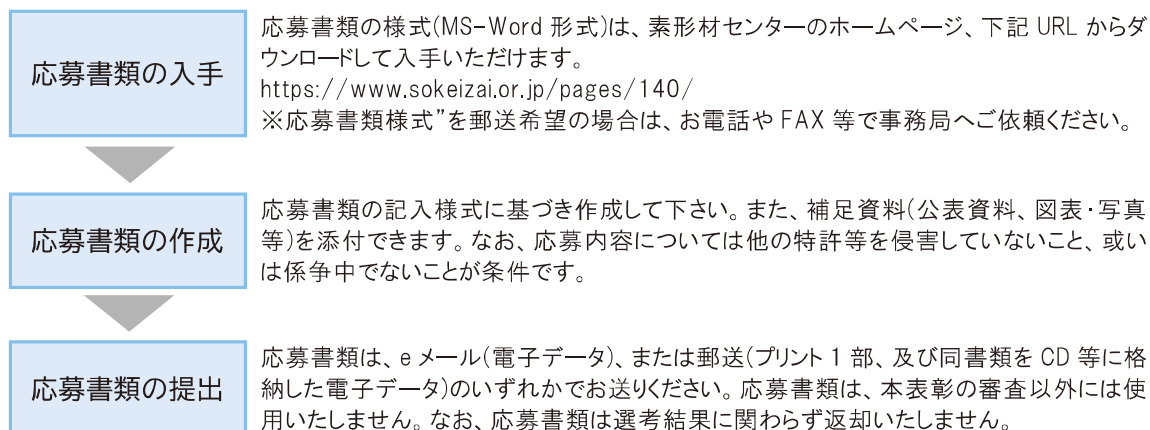
次の①～⑦の各項目について、顕著な功績を収めた経営者又は担当者を表彰します。

- ① 海外展開などの新事業展開や生産性向上に向けた取組（ビジネスモデル）
- ② 従業員がそれぞれの特長や経験を活かし、多様な人材が活躍できる場を提供する取組（ダイバーシティ）
- ③ 従業員のワークライフバランスの実現のため、柔軟な勤務形態を取り入れ、キャリアアップの促進に向けた取組（柔軟な働き方）
- ④ 従業員の健康を重要な経営資源と捉えて、個人の健康管理や増進により企業の業績向上に繋げる取組（健康経営）
- ⑤ 従業員の人材育成等により、企業の組織力を強化する取組（人材育成）
- ⑥ リスク及びそのリスクが及ぼす影響を把握し、事前に対策を講じることで、危機発生を回避するとともに損失を極小化する取組（リスクマネジメント）
- ⑦ その他素形材産業の発展に極めて貢献度の高い取組

■ 募集締切

令和8年6月5日(金)

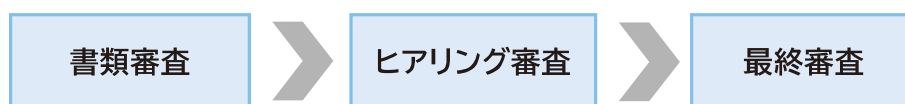
■ 応募の方法



【注】再応募も可能です。但し、前回は応募内容のブラッシュアップやその後の進展が期待されます。

■ 審査の流れ

審査は、素形材センター会長が委嘱する学識経験者で構成する素形材産業経営表彰委員会において、本賞の審査基準に基づき以下の流れで審査します。



【審査基準】

「表彰の対象・内容」に記載しました①～⑦について、
以下のような視点で総合的評価し表彰します。



- 取組のメンバー構成・役割（取組に当たって、メンバー構成（特に代表者の位置づけ）とともに、どのような役割で何を行ったか明らかになっていること。）
- 実施した取組の内容、特徴（新規性、独創性、社会環境変化への対応等を有した内容であったか明らかになっていること。）
- 実施した取組の成果・内外への波及効果（取組を行ったことでどのような成果や効果があったか明らかになっていること。例えば、取引先の信頼度向上、社内組織の活性化、優先業務の明確化等につながった等。）
- 取組の定着、発展性（短期ではなく、継続性をもった取組であることを明らかにしていること。例えば、改善、見直し、強化、新規拡充等を有する等。）

■ 受賞者の公表

- ◆11月の素形材月間記念式典で公表・表彰式を行います。
- ◆当センターのホームページやメールマガジン等で公表・PRいたします。概要は、月刊誌「素形材」12月号に掲載します。その際には、原稿執筆をお願いいたしますので、予めご了承ください。
- ◆経済産業省本館ロビーに於いて“受賞取組のパネル展示”を行いました。本年度も展示を予定しています。

■ 表彰式

素形材月間の主要事業として、素形材産業経営賞等の表彰式を行います。

◆開催日：令和8年11月6日(金)

◆会場：機械振興会館大ホール
(東京都港区芝公園3-5-8)



写真：令和7年度「素形材月間記念式典」での素形材産業貢献表彰式

■ 令和7年度 第2回素形材産業経営賞 受賞一覧

※受賞に掲げるタイトルは、受賞された取り組みを紹介するため「月刊誌・素形材(12月号)」で受賞内容掲載に用いた名称です



経済産業大臣賞

キュボラ用石炭コークスのカーボンニュートラル燃料全量転換の取り組み
マツダ株式会社 田中 裕一 氏



中小企業庁長官賞

昭芝製作所におけるDX推進の取組とその成果
株式会社昭芝製作所 三原 寛人 氏



経済産業省製造産業局長賞

超精密加工とAIの融合で挑む、町工場の事業革新 ―フェムト秒レーザーと生成AIが切り拓く新たな可能性―
ニッシン・パーテクトリアル株式会社 中村 稔 氏

製造業における生成AI導入と人材育成の取組み
株式会社オーテック 小川 大佑 氏



一般財団法人素形材センター会長賞

素材技術と回路技術の融合による次世代電源システムへの挑戦
株式会社ダイヤモンド 伊井 浩 氏

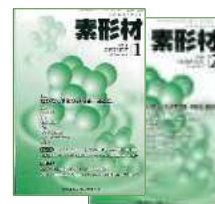
高精度プレス加工を実現する高速自動プレスの開発
株式会社アイシス 内藤 良彦 氏

システム刷新で生産力アップ ―カスタマイズ活用で作業状況を見える化―
株式会社池田熱処理工業 池田 隆久 氏

※受賞内容は、下記の素形材センター・ホームページからご覧いただけます。
<https://www.sokezai.or.jp/pages/47/>

■ 特 典

素形材センター会長賞以上の受賞者には、
月刊誌「素形材」を1年間無料で購読いただけます。



一般財団法人素形材センター

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館
電話：03(3434)3907 FAX：03(3434)3698
ホームページ URL：http://sokezai.or.jp